



刊行のことば

昭和学院理事長 山本 徹

本年、昭和学院は創立七十周年を迎えました。本学院が今日まで教育活動を続け、発展してまいりましたのは、ひとえにご父母、卒業生、地元の方々、教育界の皆様方をはじめ各方面からの暖かいご指導、ご鞭撻の賜であり、心よりお礼申し上げます。

昭和学院の卒業生は、社会においても家庭にあってもかけがえのない役割を担い、潑刺とご活躍なさっています。最近では、母子三代にわたり昭和学院に学んでいるという方々にもよくお会いするようになりました。

本学院は、七十周年を機に、小中高等学校の校舎を新築すると共に、最新の教育施設を導入いたしました。短大、秀英中高等学校の校舎も増改築を行いました。幼稚園の新園舎は来年春に完成します。伊藤記念ホールの新築、創立記念館の整備も実施いたしました。これらの施設を十分に活用することにより、教育活動の

一層の充実強化と多様化が図られることになりました。

教職員は、これを契機に心を新たにし、進学実績の向上、全国最高水準の部活動、礼儀正しい、社会で尊敬される人間の育成を目ざして、質の高い教育に力を入れ、私学教育の使命を果たしてまいります。

その一環として、これまで歩んできた途をふり返り、今後の貴重な参考に資するため、『昭和学院七十年史』を編集いたしました。

各学校から編集委員を選出し、教育指導のかたわら、多くの資料を収集し、原稿を作成いたしました。その量は、膨大なものになりましたが、皆様に気軽に手に取っていただけるよう簡明化いたしました。

皆様方には、本誌により昭和学院の教育活動の一端をご覧いただき、今後一層のご理解とご指導を賜わりますようお願いいたします。

皆様方のご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

平成二十二年十月吉日